



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 株式会社イルグルム
 コード番号 3690 URL <https://www.yrglm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 岩田 進
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 柏木 秀樹 TEL 06(4795)7500
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年9月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	1,292	10.7	169	634.8	164	822.0	117	—
2025年9月期第1四半期	1,167	25.7	23	△53.3	17	△66.1	4	△82.8

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 130百万円 (941.1%) 2025年9月期第1四半期 12百万円 (△33.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年9月期第1四半期	円 銭 19.02	円 銭 —
2025年9月期第1四半期	0.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年9月期第1四半期	百万円 3,357	百万円 1,774	% 51.6
2025年9月期	3,205	1,684	51.8

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 1,731百万円 2025年9月期 1,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7.90	円 銭 7.90
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2026年9月期末配当(予想)の内訳 普通配当 7円00銭 スタンダード市場上場記念配当 1円00銭

3. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。

3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 6,150	% 24.6	百万円 260	% △6.8	百万円 240	% △14.2	百万円 130	% —

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

2. 業績予想の修正については、本日(2026年2月5日)公表いたしました。「2026年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
除外 1社 (社名) KIMEI GLOBAL Co., Ltd

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期 1Q	6,372,415株	2025年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2026年9月期 1Q	174,447株	2025年9月期	172,835株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期 1Q	6,199,043株	2025年9月期 1Q	6,160,680株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰や急激な為替変動等による景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場については、社会のデジタル化を背景に2024年のインターネット広告費は前年比109.6%の3兆6,517億円（㈱電通「2024年日本の広告費」）と継続的に高い成長率を維持しており、総広告費に占める割合も47.6%まで拡大しております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場については、2024年国内BtoC-EC市場規模は前年比105.1%の26.1兆円となりました。分野別では、物販系分野に関して前年比103.7%と伸長しており、物販系分野におけるEC化率についてもBtoC-ECで9.8%（前年比0.4ポイント増）と伸長しております。BtoB-EC市場におけるEC化も43.1%（同3.1ポイント増）と増加傾向にあり（いすれも経済産業省「令和6年度電子商取引に関する市場調査報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、マーケティングAI事業、コマースAI事業、両セグメントの売上高増加及び経費の削減により増収増益となり、売上高1,292,356千円（前年同期比10.7%増）、営業利益169,733千円（同634.8%増）、経常利益164,459千円（同822.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益117,913千円（前年同期は4,047千円の純利益）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「マーケティングDX支援事業」から「マーケティングAI事業」、「コマース支援事業」から「コマースAI事業」へそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

（マーケティングAI事業）

当事業は、インターネットにおける消費者行動を横断的に測定し、マーケティングに活用するためのクラウドサービス等を提供する事業であります。当事業では、2024年9月期を開始年度とする中期経営方針「VISION2027」の戦略として、広告効果測定におけるクロスセルを強化し、新たなSaaSの提供開始・人的支援サービスの強化後、これら3つを掛け合わせたクロスセルを強化し、2027年9月期までに過去最高件数を更新することを目指しております。提供しているサービスは広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」を主力サービスとし、マーケティング・キャンペーン・マネジメント・プラットフォーム「アドエビスキャンペーンマネージャー」、分析レポート自動作成サービス「アドレボ」を提供する広告代理店向けプラットフォームビジネスやインキュベーション領域とし新サービスの開発にも取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、マーケティング・キャンペーン・マネジメント・プラットフォーム「アドエビスキャンペーンマネージャー」において、2つのAIエージェント「課題発見エージェント」「施策立案エージェント」を搭載したβ版の提供を開始いたしました。今後は、要因分析やレポートティング、効果検証など、マーケティング業務全体を支援するエージェントを正式版に向けて改良と拡充していき、AIと人が協働することで、より速く・賢く意思決定できる「次世代のマーケティング基盤」の実現に向け、研究開発を進めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は736,517千円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は94,636千円（同78.0%増）となりました。主力サービスである「アドエビス」の売上高が伸長したこと等により、増収増益となりました。

（コマースAI事業）

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」及びEC構築・運用フェーズを軸として、集客・物流に至るまで、EC事業者が直面する課題に対して支援サービスを提供する事業であります。オープンプラットフォーム「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者から決済手数料収入を得るというエコシステムを構築しております。

一方、EC構築領域においては大規模ECサイトを中心としたEC構築を行うとともに、「EC-CUBE Enterprise」として大規模ECサイトに必要とされる高アクセスに耐えるインフラ基盤・モール型EC・多言語対応等の機能をパッケージとして用意し、コストパフォーマンスに優れた高可用性システムとして大型案件の獲得に取り組んでおります。

また、EC運用支援領域においては、ECサイトの運用支援事業やフルフィルメントサービスの提供を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、「EC-CUBE」の最新版（Ver. 4.3.1）において、世界標準の本人認証サービス「3Dセキュア2.0」を初期搭載し、豊富な決済手段が利用できる公式決済「EC-CUBE Payment Plus」を標準搭載いたしました。決済サービス導入に伴う煩雑なシステム設定作業が大幅に軽減され、また、別途決済代行会社に必要だった申込審査も「EC-CUBEオーナーズストア」から可能となるなど、決済導入へのステップを大幅に削減され、すべてのEC事業者が、高機能・高セキュリティな決済サービスを簡単・すぐに導入できるようになります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は556,168千円（前年同期比21.1%増）、セグメント利益は75,096千円（前年同期は30,079千円のセグメント損失）となりました。EC構築領域の開発案件の増加やEC運用支援領域の前期獲得新規顧客の売上寄与等により売上高は大幅増となり、セグメント利益についても黒字化いたしました。なお、EC構築領域の受注状況につきましては、受注高は97,487千円（前年同期比12.3%減）となり、受注残高は434,719千円（前年同期末比274.7%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,569,712千円となり、前連結会計年度末に比べ167,945千円増加いたしました。これは主にコマースAI事業のEC構築事業の開発案件の進捗に伴い契約資産が91,682千円、前払費用が59,701千円それぞれ増加したことによるものであります。

また、固定資産は787,599千円となり、前連結会計年度末に比べ15,724千円減少いたしました。これは主にのれんが償却により11,011千円、繰延税金資産が9,801千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,357,312千円となり、前連結会計年度末に比べ152,221千円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,192,706千円となり、前連結会計年度末に比べ88,732千円増加いたしました。これは主に未払金が82,533千円増加したことによるものであります。

また、固定負債は390,461千円となり、前連結会計年度末に比べ25,854千円減少いたしました。これは約定返済により長期借入金が18,114千円、子会社事務所の賃貸借契約の終了により資産除去債務が7,740千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,583,167千円となり、前連結会計年度末に比べ62,878千円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,774,145千円となり、前連結会計年度末に比べ89,343千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益117,913千円及び剰余金の配当48,976千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.6%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

（通期連結業績予想の修正について）

最近の業績動向を踏まえ、現時点での入手可能な情報に基づき、通期の連結業績予想を以下のとおりといたします。

	金額	対前期増減率	（参考） 前期連結実績
売上高	百万円 6,150	% 24.6	百万円 4,934
営業利益	260	△6.8	278
経常利益	240	△14.2	279
親会社株主に帰属する当期純利益	130	—	△142

2026年1月7日公表の「シルバーエッグ・テクノロジー株式会社（証券コード：3961）の株券等に対する公開買付けの結果及び子会社の異動（特定子会社の異動）に関するお知らせ」のとおり、2026年1月14日付でシルバーエッグ・テクノロジー（以下、シルバーエッグ・テクノロジーといいます。）は当社の連結子会社となりました。みなし取得日を2026年1月1日とし、第2四半期会計期間より連結対象となる予定です。この連結影響を踏まえ、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて業績予想の算定を行ったため、上記の数値にて今回公表いたします。

2026年9月期連結会計年度の売上高はシルバーエッグ・テクノロジーの連結影響730百万円が主な増加要因となります。また、第1四半期連結会計期間においてコマースAI事業の売上高が期初予想を下回ったこと等を踏まえ700百万円の上方修正をいたします。

利益面につきましては、シルバーエッグ・テクノロジーの利益貢献は来期2027年9月期から発生すると見込んでいるものの、初年度である2026年9月期についてはマイナスの影響を受けることから、前回公表の業績予想を下回る見込みであります。営業利益は、既存事業の第1四半期連結会計期間の実績が計画を上回った一方、シルバーエッグ・テクノロジーが10百万円の営業損失での取り込みとなる他、M&A影響（シルバーエッグ・テクノロジー取得にかかるM&A費用やのれん償却費）によって60百万円の減額修正となります。また、経常利益・親会社に帰属する当期純利益は、営業利益の減額修正による影響に加えM&Aファイナンスに伴う支払利息の追加計上等により上記のとおりそれぞれ減額修正となります。

（配当予想について）

期末配当予想につきましては、配当方針に基づいた7.0円にスタンダード市場上場記念配当1.0円を加え、1株当たり8.0円を予定しております。前回発表予想から変更はありません。配当方針に基づいた配当金については、業績の修正予想を踏まえて配当方針の目安としている連結株主資本配当率(DOE)2.5%を用いて算出し直すと、1株当たり配当金は前回発表予想の7.0円を下回るものの、株主の皆様への安定的かつ継続的な配当政策は重要な経営方針の1つであるため、総合的な判断から修正は行わず配当予想を据え置くことといたしました。

※本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,558,322	1,548,353
受取手形及び売掛金	604,817	595,482
契約資産	115,680	207,362
仕掛品	3,153	39,211
前払費用	104,253	163,955
未収入金	9,110	8,738
その他	8,889	10,098
貸倒引当金	△2,461	△3,489
流動資産合計	2,401,766	2,569,712
固定資産		
有形固定資産		
建物	102,881	88,097
減価償却累計額	△70,681	△58,570
建物（純額）	32,199	29,526
工具、器具及び備品	260,389	260,394
減価償却累計額	△222,966	△219,942
工具、器具及び備品（純額）	37,422	40,452
有形固定資産合計	69,622	69,979
無形固定資産		
のれん	57,869	46,857
ソフトウエア	342,960	334,279
ソフトウエア仮勘定	44,319	60,438
その他	11,788	11,330
無形固定資産合計	456,937	452,907
投資その他の資産		
投資有価証券	54,677	59,118
長期前払費用	55,476	49,063
繰延税金資産	44,994	35,192
差入保証金	120,973	120,682
その他	2,716	2,453
貸倒引当金	△2,072	△1,797
投資その他の資産合計	276,765	264,713
固定資産合計	803,324	787,599
資産合計	3,205,091	3,357,312

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	137,914	132,946
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	75,377	74,852
未払金	315,018	397,552
未払法人税等	88,548	37,641
預り金	59,706	92,029
契約負債	112,143	166,476
賞与引当金	55,330	40,968
株主優待引当金	9,760	—
その他	175	239
流動負債合計	1,103,974	1,192,706
固定負債		
長期借入金	354,036	335,922
資産除去債務	62,279	54,539
固定負債合計	416,315	390,461
負債合計	1,520,289	1,583,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	354,387	354,387
利益剰余金	1,105,859	1,168,469
自己株式	△130,275	△130,275
株主資本合計	1,648,038	1,710,647
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,952	20,358
その他の包括利益累計額合計	10,952	20,358
非支配株主持分	25,811	43,139
純資産合計	1,684,802	1,774,145
負債純資産合計	3,205,091	3,357,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,167,778	1,292,356
売上原価	566,802	562,303
売上総利益	600,976	730,052
販売費及び一般管理費	577,876	560,319
営業利益	23,100	169,733
営業外収益		
受取利息	2,580	2,669
持分法による投資利益	592	—
投資有価証券評価益	—	755
その他	545	1,558
営業外収益合計	3,717	4,983
営業外費用		
支払利息	1,727	1,759
投資有価証券評価損	4,053	—
持分法による投資損失	—	6,199
為替差損	3,138	1,960
その他	60	337
営業外費用合計	8,980	10,257
経常利益	17,837	164,459
税金等調整前四半期純利益	17,837	164,459
法人税、住民税及び事業税	10,194	33,274
法人税等調整額	8,148	9,801
法人税等合計	18,342	43,076
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△504	121,382
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,552	3,469
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,047	117,913

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△504	121,382
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,073	9,470
その他の包括利益合計	13,073	9,470
四半期包括利益	12,568	130,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,898	127,144
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,329	3,708

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次とおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	47,737千円	41,410千円
のれん償却額	36,342千円	11,011千円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング AI事業	コマースAI事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	708,557	459,220	1,167,778	—	1,167,778
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	708,557	459,220	1,167,778	—	1,167,778
セグメント間の内部売上高又 は振替高	2,010	—	2,010	△2,010	—
計	710,568	459,220	1,169,788	△2,010	1,167,778
セグメント利益又は損失 (△)	53,179	△30,079	23,100	—	23,100

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング AI事業	コマース AI事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	736,187	556,168	1,292,356	—	1,292,356
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	736,187	556,168	1,292,356	—	1,292,356
セグメント間の内部売上高又 は振替高	330	—	330	△330	—
計	736,517	556,168	1,292,686	△330	1,292,356
セグメント利益	94,636	75,096	169,733	—	169,733

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「マーケティングDX支援事業」から「マーケティングAI事業」、「コマース支援事業」から「コマースAI事業」へそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記の変更を踏まえて作成・記載しております。

(重要な後発事象の注記)

(シルバーエッグ・テクノロジー(株)の株券等の公開買付けについて)

当社は、2025年11月14日開催の取締役会において、シルバーエッグ・テクノロジー(株)（以下「対象者」といいます。）の普通株式及び新株予約権を金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。）による公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）により取得することを決議し、2025年11月17日から2026年1月6日の期間で本公開買付けを実施したことにより、2026年1月14日（本公開買付けの決済の開始日）付で、対象者は当社の連結子会社となりました。

(1) 本公開買付けの目的

当社は、中期経営方針「VISION 2027」の実現に向けた具体的な施策の1つとして、M&Aの実施等によるコマースAI事業における支援領域拡大の機会を模索しておりました。

当社はマーケティングAI事業及びコマースAI事業を行っており、対象者はAIを活用したレコメンド技術及びそれをベースとしたAIマーケティングサービス事業を行っており、ともにEC領域やマーケティング領域を主たる事業領域としております。当社は、両者がデジタルマーケティング領域におけるECサイト運営者が抱える課題の解決に向き合いながら、異なる領域でサービスを展開していることから、両者の事業ノウハウやアセットを相互共有・活用し、顧客の課題解決を統合的に支援することにより、更なる提供価値の向上が実現できる可能性があるとの考えに至りました。

また、当社は、対象者の上場が維持された場合、対象者は公開買付者から一定程度独立した事業運営を行わざるを得ず、相互の経営資源・ノウハウの共有・活用や迅速な意思決定に一定の制約が生じることが懸念され、両者のシナジーを最大化するためには対象者を当社の完全子会社とすることが望ましいと考え、公開買付けを実施することになりました。

(2) 対象者の概要

① 名称	シルバーエッグ・テクノロジー(株)
② 所在地	大阪府吹田市江坂町一丁目23番43号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 トマス・アクイナス・フォーリー
④ 事業内容	AIを活用したレコメンド技術及びそれをベースとしたAIマーケティングサービス事業
⑤ 資本金	287百万円（2025年12月31日現在）
⑥ 設立年月日	1998年8月26日

(3) 本公開買付けの概要

① 買付け等の期間	2025年11月17日から2026年1月6日まで (31営業日)
② 買付け等の価格	普通株式1株につき、金770円 第3回新株予約権1個につき、金1円
③ 買付予定の株券等の数	買付予定数 2,173,957株 買付予定数の下限 1,181,700株 買付予定数の上限 ー株

(注) 応募株券等の数の合計が買付予定数の下限（1,181,700株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付けを行いません。応募株券等の数の合計が買付予定数の下限（1,181,700株）以上の場合は、応募株券等の全部の買付け等を行います。

(4) 決済の開始日 2026年1月14日

(5) 本公開買付けの結果

① 公開買付けの成否	本公開買付けの結果、応募された株券等の数の合計が買付予定数の下限以上となりましたので、応募された株券等の全ての買付けを行いました。
② 買付け等を行った株券等の数	普通株式 1,864,500株
③ 買付け等を行った後における株券等所有割合	62.63%（小数点以下第三位を四捨五入）
④ 買付価格総額	1,435百万円

(多額な資金の借入について)

当社は、2026年1月7日開催の取締役会で、2025年11月26日付で㈱みずほ銀行と締結しました「コミットメント期間付タームローン契約」を利用して、資金の借入を行うことを決議いたしました。

(1) コミットメント期間付タームローン契約締結の理由

シルバーエッグ・テクノロジー(㈱)の株式取得資金に充当することを目的としております。

(2) 契約の概要

① 借入先の名称	㈱みずほ銀行
② 借入限度枠	1,680百万円
③ 借入金利	基準金利+スプレッド
④ 契約日	2025年11月26日
⑤ コミットメント期間	2025年11月28日 ~ 2026年11月30日
⑥ タームローン期間	2026年11月30日 ~ 2033年11月30日
⑦ 担保又は保証の内容	該当事項なし
⑧ 財務上の特約の内容	<p>i) 各連結会計年度の決算期の末日における連結貸借対照表における純資産の部の金額を正の値とすること。</p> <p>ii) 各連結会計年度の決算期における連結損益計算書に示される経常利益が、2期連続して損失とならないようにすること。</p> <p>iii) 各連結会計年度の決算期における連結貸借対照表を用いて計算されるネットレバレッジレシオを5以下の値に維持すること。</p>

- (注) 1. 本契約は、1,680百万円のコミットメント期間が付されたタームローン契約であり、当該コミットメント期間内において当社が借入を求めた場合に個別の貸付実行が行われることとなります。また、2026年11月30日における借入残高に係る返済期間として、タームローン期間を設けております。
2. ネットレバレッジレシオ=純有利子負債/EBITDA
3. 純有利子負債=有利子負債-現預金
4. EBITDA=営業損益+減価償却費

(3) 借入の概要

① 借入総額	1,435百万円
② 借入金利	基準金利+スプレッド
③ 返済方法	分割返済
④ 借入日	2026年1月9日
⑤ 借入期間	2026年1月9日 ~ 2033年11月30日